

令和7年度収蔵品展 「人のかたち・動くかたち」 出品リスト

会期：令和7年5月31日（土）～12月7日（日）

会場：小田原市郷土文化館分館 松永記念館 別館

私たちはどうして絵を描くのでしょうか。絵画の起源には諸説ありますが、古代ローマの博物学者は、戦地に赴く恋人の影の輪郭を写し取ったことに始まると記しています（大プリニウス『博物誌』第35巻）。身近な人の姿を写し留めたいという気持ちは、古来より、絵を描く際の強い動機の一つであったと言えるでしょう。

本展では、収蔵作品の中から、「人のかたち」や「動くかたち」を様々な表現でとらえようとした作品をご紹介します。人の身体の立体的なボリュームを現出させようとした廣本了、人体をシンプルな線に還元して抽象的な形態を追求した井上三綱、また人間の所業をコミカルに動物の姿で戯画的に描いた石井佐一など、多様なアプローチをたどることができます。絵画における様々な実験をご覧ください。

【1階展示室】

		作者	タイトル	制作年	形態	材質・技法	寸法 縦×横 cm (作品のみ)
	1	廣本 了 (1899-1980)	春の室内像	1967年	額	キャンバス・油彩	130.3×89.4
	2	加藤 千枝 (1930-1999)	身になる（化身）	1976年	額	キャンバス・油彩	132.0×195.0
★	3	ジョアン・ミロ (1893-1983)	不詳	1950年	額	紙・リトグラフ	42.0×52.5
★	4	オシップ・ザッキン (1890-1967)	顔	不詳	額	紙・リトグラフ	54.0×45.0
★	5	棟方 志功 (1903-1975)	少女	不詳	額	紙・木版	18.4×14.5
	6	井上 三綱 (1899-1981)	桃李美人	不詳	屏風	紙・墨・水彩	154.0×154.0
	7	井上 三綱	浴後	1954年	額	紙・混合技法	74.1×37.0
	8	井上 三綱	裸婦	制作年不詳	額	紙・混合技法	134.8×53.0

【2階展示室】

		作者	タイトル	制作年	状態	材質・技法	寸法 縦×横 cm (作品のみ)
	9	井上 三綱	島の娘	1953年	額	紙・混合技法	54.2×39.0
	10	井上 三綱	働く人	1958年	額	紙・混合技法	79.0×53.1
	11	井上 三綱	男女神二面像	不詳	額	紙・混合技法	46.4×70.0
	12	井上 三綱	素描(醉人二人)	1960年	額	紙・墨	54.2×39.0
	13	石井 佐一 (1923-2010)	防災	不詳	額	キャンバス・油彩	144.0×175.5
	14	徳澤 隆枝 (1920-1984)	四角い手のモニュマン(ね！ビー玉しようね)	不詳	額	キャンバス・油彩	163.0×163.0
	15	徳澤 隆枝	もう一つのリンゴ	1981年頃	額	キャンバス・油彩	163.0×163.0

【2階通路】

		作者	タイトル	制作年	状態	材質・技法	寸法 縦×横 cm (作品のみ)
	16	井上 三綱	立像	1960年	額	紙・混合技法	54.2×39.0
	17	井上 三綱	海水浴	不詳	額	紙・混合技法	13.4×20.5
★	18	[複製] パブロ・ピカソ	ゲルニカ	1978 ※原画は 1938 年	額	※原画はキャンバス・ 油彩	47.4×101.3 ※原画は 349.3 × 776.6

★印は中河与一コレクション